

平成28年度(2016)第1回 総合教育会議 会議録

1. 日 時 平成28年(2016)5月9日(月)午後1時30分

2. 会 場 出雲市役所 3階市民応接室

3. 出席者

(構成員)

出 雲 市 長	長 岡 秀 人
教 育 委 員 長	成 相 善 美
教育委員(委員長職務代理)	下 手 泰 子
教 育 委 員	本 田 惠 子
教 育 委 員	松 浦 剛 司
教 育 長	楨 野 信 幸

(関係者)

出 雲 市 副 市 長	伊 藤 功
-------------	-------

(事務局職員)

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長(教育政策課長)	小 山 裕 美
教育部次長(学校教育課長)	安 井 孝 治
児童生徒支援課長	竹 田 博 司
教育施設課長	金 山 隆 司
学校給食課長	木 代 伸 治
出雲科学館館長	山 本 利 明

開会

(杉谷部長)

失礼します。それではご出席の皆様おそろいでございますので、只今から、第1回総合教育会議を開会いたします。

開会にあたりまして、長岡市長がごあいさつ申し上げます。

(長岡市長)

それでは、平成28年度の第1回目の総合教育会議ということで、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。去年から教育委員会制度の改革に伴いまして、こういった会議を開くわけですが、去年は教育大綱の話と、そのほかいろいろな事業についてお話をさせていただいたところがございますが、今年度も引き続き活発なご意見をいただきたいと思っております。

ご案内のように、出雲市も地方創生ということで、総合戦略あるいは人口ビジョン等を策定したところでありますけれども、特にその中で、子どもたちの教育に関する話、キャリア教育とかふるさと学習等々、大きな柱のひとつという捉え方をしているところがございます。将来を担う子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持って、またいつかこの地域のためにがんばってくれるように、そういう人材をつくる、それがわれわれにとっても大きな使命だと思っております。そういうところも含めまして、この総合教育会議の中で様々なご提言をいただきたい、それをしっかりと教育行政の中で反映していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(杉谷部長)

ありがとうございます。続きまして、成相教育委員長からごあいさついただきます。

(成相委員長)

第1回総合教育会議の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。長岡市長、伊藤副市長におかれましては、日頃から様々な教育施策につきましてご理解、ご支援をいただいていることに対しまして、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

昨年度からこの総合教育会議が制度化され、いろいろと私たちの思いを述べさせていただきましたが、中学校のエアコン整備をはじめ、厳しい財政の中で手厚いご配慮をいただいたことに、感謝を申し上げます。

まさに将来の出雲市を担う子どもたちは、出雲市の宝であり、健やかに育てていくことが、教育行政に携わるものの責務だと思います。そのためには様々な課題があるのも事実であり、ひとつひとつ改善を目指すために、ともに知恵を絞っていただけたらと思っております。

貴重なこの総合教育会議の場で、市長と教育委員会の共通理解がさらに進み、充実した教育行政が展開できますよう、議論を深めていければ幸いです。

本日は充実した意見交換ができますよう、どうぞよろしくお願い致します。

(杉谷部長)

ありがとうございました。それでは早速、協議に入りたいと思います。総合教育会議設置要綱第4条の規定によりまして、市長に進行をお願いします。

(長岡市長)

それでは、早速協議事項に入ります。最初に、大綱の策定方法について、協議させていただきたいと思います。昨年、確認した事項等も含めまして、今一度大綱の策定方法等について協議を進めたいと思います。では事務局から、説明してください。

(杉谷部長)

では、失礼します。

(以下、「大綱について」、「出雲市教育大綱模式図」の資料説明)

(長岡市長)

先ほどの説明でご意見、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。併せて、大綱の基本理念等についても、ご意見がございましたらお願いします。

(成相委員長)

大綱に書かれている部分は非常にいいんですけど、今日の議題の3番目に、出雲ブランドの教育（出雲らしい教育）というのがありますが、出雲の子どもたちはこういうところが違うんだよ、こういう特長がありますというものが、なかなか一言では表せないんですけど、そういう部分が何かあるといいのかなと思います。

(長岡市長)

模式図でいくと、「出雲の未来を切り拓くしなやかでたくましい人づくり」というところを、どこかの市の名前にするとそのまま全国どこでも通用するというような大綱ではつまらないと、出雲ならではの特徴を盛り込んでもらいたいと、そういうことです。

(成相委員長)

そうですね。

(長岡市長)

基本構成にしても、目指す子ども像にしても、全国どこでも似たようなことになっているということはありますが、事務局から何かありますか。

(杉谷部長)

先ほど成相委員長さんの方からお示しいただいた、3番目での意見交換の中に、いろいろご意見をいただいたことを、模式図の中の例えば目指す子ども像の前段の、出雲市の子どもたちの状況であるとか、特徴をふまえて作られていくものであると思いますので、文章

で書いていく中においては、先ほどの要素は当然入ってくるものと思っておりますし、またそれをふまえて子ども像なり基本方針を策定して、また案としてお示ししていただけるものと思っております。

(成相委員長)

はい。わかりました。

(本田委員)

大綱というところでは、具体的な出雲らしさというものを濃厚に盛り込むということは、なかなか難しいと思います。そこは教育振興計画で、具体的に出雲らしさを表わす言葉や、あるいは施策が出てくるのではと思います。日本全国、こういう子どもがいいなというところは、だいたい似たりよったりだと思います。そこで出雲らしさというのは欲しいけれど、大綱の中では難しいという感じがします。

(長岡市長)

ほかの皆さんは、いかがですか。

(下手委員)

出雲らしさを盛り込むということではありませんが、外国の子どもさんや大人が増えてきて、私もそういう子どもに関わることがあるんですけど、言葉以上に生活習慣とか考え方がすごく違って、それでなかなか交わっていけないところがあります。でもせっかく出雲はこうやってたくさん外国から来てくださっているの、これからきっと世界にはばたいていく出雲の子どもたちも多いと思うので、何かそういう国際的なことも含めて、いろいろな人たちとコミュニケーションをとっていける子どもを策していくとか、そういうことを大綱には入らないと思いますが、振興計画の中に色濃く、言葉の事業のほうだけではなくて、そういうところを入れていただけるといいと思います。

(長岡市長)

その辺については、例えば現状の中で、特に外国人が急増しているという中で、主な考え方というのは、盛り込んでいく必要があると思います。行政の方では、多文化共生ということで、基本的な取組をまとめている最中です。相当幅広い範囲でいろいろなことが必要だと思っています。県内的にいうと、外国人がこれだけ多いのは出雲市だけですが、全国ではたくさんありますけれど、そういう意味でも特徴のひとつだろうと思います。また行政としての対策、そして教育現場での対応とか、いろいろな課題を新たに抱えていることは間違いないですから、しっかり取り組む必要があると思っています。

(杉谷部長)

先ほど、どこに入れたほうがいいのかというようなお話をお聞かせいただきましたが、例えば「目指す子ども像」や「基本方針」の中に入れ込めるのかもしれませんが、具体的な施策となってくると、本当に出雲市ならではのものが出てくると思います。いろいろな

出雲らしさというか、この地域の特徴を活かす教育とはどうあるべきか、そこで目指す子どもはどういう子どもなのかというところを、このあといろいろと意見交換をしていただければ、私たちも委員の皆様から出していただいたいろいろなキーワードをつなぎ合わせながら考えさせていただこうと思っております。

(長岡市長)

皆さん、いかがですか。

(松浦委員)

今おっしゃるように、また細かいことを後ほど話し合ったらと思います。

(長岡市長)

では、大綱の方針といたしますか、方向性については、このぐらいにさせていただいてよろしいですか。

(各委員)

はい。

(長岡市長)

それでは次の、平成28年度総合教育会議の開催予定について、事務局から説明をお願いします。

(杉谷部長)

それでは、事務局の案を説明させていただきます。

(以下、年間4回の開催について説明)

(長岡市長)

これについて、何かありますか。よろしいですか。

(各委員)

はい。

(長岡市長)

それでは、4回ということでお願ひします。では3番目の、教育を取り巻く諸課題についての意見交換ということでお願ひします。

(事業計画及び予算に関する事項のため、非公開)

(長岡市長)

それでは、事務局にお返しします。

(杉谷部長)

それでは、熱心に意見交換いただき、ありがとうございました。以上で、第1回総合教育会議を閉会します。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

15:12 終了